

ユネスコ執行理事会メンバー国 御中
CC: イリーナ・ボコヴァ ユネスコ事務局長

「ユネスコ・オビアン・ンゲマ・ムバソゴ生命科学研究国際賞」の再検討の件

2010年8月12日

ユネスコ執行理事会メンバー国の皆様

6月15日にパリで開催された情報会合の結果、10月に予定されておりますユネスコ執行理事会の次回会合で、「ユネスコ・オビアン・ンゲマ・ムバソゴ生命科学研究国際賞」(以下オビアン賞)についてを取り上げることとされたと理解しております。私どもは来たる10月の会議で、皆様が、本賞の恒久的な廃止を決定されるよう強く求め、本書簡を送付させていただいております。

オビアン賞に関する懸念や反対の声が、科学者、報道の自由のリーダー、学識者、公衆衛生の専門家、ノーベル賞受賞者、ユネスコ賞受賞者、各国政府、国会議員、そして世界中の市民社会からあげられております。そうしたなかで、6月15日、イリーナ・ボコヴァ事務局長や執行理事会メンバーなどのユネスコのリーダーシップが、同賞の授与の延期及び更なる検討を決定されたことを、私どもは歓迎するものであります。

オビアン大統領の名を冠するとともに、同大統領が資金を提供する賞は、ユネスコによって立つ理念そのものと対立し、とりわけ、オビアン賞の創設目的として挙げられている理念を害するものであります。

ユネスコの賞に関する2005年ユネスコ報告書によると、「ユネスコが授与する各賞は、道徳的かつ象徴的価値を持ち」、その授受は「ユネスコの評価・権威・影響力の向上に寄与」しなければならない、とされております。しかしながらオビアン大統領による人権侵害・報道の自由の抑圧・開発の失策などの惨憺たる実態は、国連の諸機関などの信頼できる諸団体によって、詳細に明らかにされてきたところであります。

拷問に関する国連の特別報告者は、オビアン政権下における拘禁施設での組織的拷問などの人権侵害を厳しく批判してきました。また、オビアン政権下では、報道統制も厳しく、出版前の検閲が公式に行なわれているほか、ジャーナリストやメディアに対する監視と圧力のためにメディアは自己検閲を余儀なくされており、赤道ギニア国民は、自らの政府の活動について、基礎的な情報も得られない状態です。

オビアン政権で行なわれている汚職の実態も、複数の政府の調査結果によって裏付けら

れております。赤道ギニアは天然資源から巨額の利益を上げており、サハラ以南のアフリカ諸国では一人当たりの国内総生産(GDP)がトップであるにもかかわらず、驚くべきことに、その保健や開発指数は同地域や世界の最貧国グループのレベルとなっております。さらに、2010年にユネスコが発表した報告書「全ての人々に教育を(Education for All)」の中で指摘される通り、世界中ほぼすべての国が就学率を向上させている一方で、赤道ギニアでの小学校就学率は89%(1999年)から67%(2007年)へと低下しています。

本賞は、オビアン大統領の名を冠し、また、赤道ギニアの天然資源から不当に得られた可能性のある資金により設置されております。本賞をユネスコが授与することは、ユネスコにとって申し開きのできないこととなりましょう。アフリカ人権憲章を含む人権基準のもと、国の富は国民のために使われなければなりません。しかし赤道ギニアでは、大多数の国民が赤貧の中で生活する一方、オビアン大統領やその親族や周辺の人びとが、天然資源から得られた利益で贅沢な生活を享受しております。

したがって、以下に署名した諸団体は、貴殿に対し、オビアン賞を廃止することを求めます。そして、オビアン大統領の名前が使われたり同大統領の資金が提供されている限り、いかなる代替案も拒否するよう求めます。さらに、我々は、オビアン大統領が提供した300万米ドルが、赤道ギニア国民の教育・保健・その他の基本的権利のために使われることをユネスコが確保できるよう、皆様のご支持を要請いたします。そして、赤道ギニア政府内で汚職が横行している実態を踏まえれば、こうした出費は、透明性を確保したメカニズムで行なわれる必要があります。

我々は、6月15日、ボコヴァ事務局長が、賞の基準改正を議論するワーキング・グループに関して言及したことに注目しております。事務局長は10月の執行理事会の会合で同ワーキング・グループに関する報告を行なうとされております。人権促進などのユネスコの使命に反するような賞が創設される事態を避けるべく、我々は、来たる執行理事会の会合にて、ユネスコ賞の設置プロセス全体を改革する議論を行なうよう、皆様に強く提言する次第であります。

本件のご検討に感謝申し上げます。また、ユネスコへご献身、そして、ユネスコうたう理想に向けたご献身に感謝申し上げます。なお、本書間署名者へのご連絡は、人権NGO「赤道ギニアに公正を」エグゼクティブディレクターのツツ・アリカンテ(tutu@egjustice.org)までお願い申し上げます。

敬具